



いま、  
風が  
吹いている

## 向田邦子 没後40年特別イベント 「いま、風が吹いている」

会期：2021年1月14日（木）- 24日（日） 11:00 - 20:00 \*会期中無休

会場：SPIRAL（スパイラル）東京都港区南青山5-6-23

展覧会：入場無料、スパイラルホール上映・公演：有料 \*入場方法等につきましてはスパイラルウェブイベントページで随時お知らせします

主催：没後40年向田邦子カケル会

総合プロデューサー：合津直枝（テレビマンユニオン）

展覧会プロデューサー：小林裕幸（スパイラル）

会場構成・アートディレクション：KIGI

監修：向田和子

企画制作：ままや／テレビマンユニオン

企画協力：スパイラル

会場協力：株式会社ワコールアートセンター

協力：講談社／新潮社／文藝春秋／東京ニュース通信社

特別協力：かごしま近代文学館

旺盛な好奇心で風のように軽やかに生きた、向田邦子の 51 年の軌跡。

その軌跡がさまざまな分野で活躍する才能と掛け合わせり、

新たなクリエイションが生まれます。

1929 年東京生まれの向田邦子。女性の社会進出はまだこれからという時代に、編集者として活動を始め、やがて多数のラジオ番組を構成、作家となり約 1,000 本のテレビドラマの脚本を手がけ、ヒットドラマの旗手となりました。さらにエッセイを書き、数作の短編小説で直木賞を受賞。残された多くの言葉や物語は、時を経ても色褪せることなく人々の心に響き続けています。そして、寸暇を惜しんでおしゃれを楽しみ、美味しいものに目がなく、旅が好き、そんな“自分らしく気持ちよく暮らしたい”という向田邦子の生活スタイルもまた、世代を超えて共感され、憧れの対象であり続けています。

台湾の飛行機事故での突然の死から 40 年となる 2021 年、末妹・向田和子監修のもと、合津直枝（テレビマンユニオン）を総合プロデューサーに迎え、特別イベントを開催します。会場は東京・青山にある複合文化施設、SPIRAL（スパイラル）。向田邦子が最後の 10 年を過ごし愛した街、青山を開催地を選びました。展覧会の会場構成、アートディレクションを KIGI の植原亮輔と渡邊良重が行います。

そして、新たに製作するドキュメンタリーの上映や、舞台やコンサートなど盛りだくさんの内容です。軽やかでしなやかな風のように生きた向田邦子の 51 年の軌跡が、デザイン、グラフィック、文芸、演劇、音楽など、現在さまざまな分野で活躍する才能と掛け合わせり生まれる新たなクリエイション。この生きる活力をさまざまな世代の人々の心に届けます。

## 展覧会 会場：スパイラルガーデン（1F）

展示品セレクト、会場構成、アートディレクションをデザイン事務所 KIGI（キギ）が手がけます。スパイラルガーデンの空間全体に「風が吹き抜けていく」流れを表現。向田邦子が様々な仕事を経てステップアップし、その才能や魅力が開花していった足跡と重なります。この中で、向田邦子の愛用品、生原稿、写真など約 300 点の資料を展示。これまでの展覧会とまた一味違う眼差しで向田邦子の魅力を見つめます。

2021 年 1 月 14 日（木） - 24 日（日） 11:00 - 20:00 入場無料

## ドキュメンタリー『向田邦子からの贈り物』 会場：スパイラルホール（3F）

ドラマ、小説、エッセイ、食、装い…向田邦子に魅せられた各界 30 余名が「わたしと向田邦子」を語る祝祭的ドキュメンタリー。

出演：近日発表 構成：合津直枝〈テレビマンユニオン〉

2021 年 1 月 20 日（水） 15:30 / 18:30 1 月 21 日（木） 12:30 / 15:30 / 18:30 有料

## 舞台『寺内貫太郎 33 回忌』 会場：スパイラルホール（3F）

頑固で短気ながら人情家で知られた石材店の主人・寺内貫太郎最後の法要。大ヒットドラマ「寺内貫太郎一家」が甦ります。

出演：溝端淳平、浅田美代子、小林亜星（声）ほか 企画・脚本・演出・プロデュース：合津直枝

2021 年 1 月 23 日（土） 14:00 / 17:30 有料

## 『向田邦子・風のコンサート』 会場：スパイラルホール（3F）

向田ドラマおなじみの楽曲や、向田邦子お気に入りの曲など計 13 曲を、超一流アーティストが奏でる一回限りの特別なコンサート。

石田泰尚（ヴァイオリン）西谷牧人（チェロ）山中惇史（ピアノ）波多野睦美（メゾソプラノ）杉並児童合唱団 / MC 華恵

2021 年 1 月 24 日（日） 15:00 有料

## 関連イベント

### トークショー 会場：スパイラルガーデン（1F）

会期中の週末は、向田邦子ゆかりの著名人と語るトークイベントを開催します。

2021 年 1 月 16 日（土） 17 日（日） 23 日（土） 24 日（日） 事前登録制

### 『向田書店』 会場：MINA-TO（1F）

向田邦子著作本ほか、その版元である出版社がおすすめする書籍約 30 タイトルを販売します。

### 特別メニュー『ままやセット』 会場：スパイラルカフェ（1F）

向田邦子の妹・和子が主人を務めた赤坂の小料理屋「ままや」のメニューを特別に再現します。

## Profile

向田 邦子（むこうだくにこ） 1929 - 1981

昭和4（1929）年東京生まれ。保険会社に勤める父親の転勤に伴って幼少時から高等女学校時代まで日本全国を転々としながら育つ。ふるさとを持たない身でありながら、小学3年生から2年余りを過ごした鹿児島を、のちに“故郷もどき”として親しむ。実践女子専門学校（現・実践女子大学）国語科を卒業後、映画雑誌の編集者を経て、ラジオの構成作家、テレビ脚本家として活躍。代表作には「寺内貫太郎一家」「阿修羅のごとく」などがあり、1970-80年代のヒットメーカーとなる。46歳での乳がん発症をきっかけにエッセイを手掛けるようになって「父の詫び状」を出版、1980年「小説新潮」に連載中の『思い出トラップ』の「花の名前」「かわうそ」「犬小屋」で第83回直木賞を受賞し、“時の人”となる。翌1981年8月飛行機事故で急逝。享年51。残した作品と同様に、旺盛な好奇心を寄せたセンスのいい生活スタイルが多くの人々を魅了し続けている。

合津 直枝（ごうづ なおえ） / 総合プロデューサー

テレビマンユニオン所属。是枝裕和を監督起用した初プロデュース映画「幻の光」はヴェネチア国際映画祭で金のオゼッラ賞を受賞。国内では映画プロデューサーに贈られる最高賞・藤本賞を受賞。初監督映画「落下する夕方」は、ベルリン国際映画祭に正式出品され、また同時に、新藤兼人賞銀賞を受賞。2013年NHK連続ドラマ「書店員ミチルの身の上話」では、演出・脚本・プロデュースの3役で全10話を仕上げる。最近では、伊集院静「乳房」沢木耕太郎「檀」吉田修一「悪人」向田邦子「家族熱」の名作をふたり芝居に脚色演出し、評判となる。

小林 裕幸（こばやし ひろゆき） / 展覧会プロデューサー

スパイラル館長 シニアプロデューサー。1989年株式会社ワコールアートセンターに入社。同社が運営する複合文化施設「スパイラル」のプロデューサーに就く。伝統芸能からコンテンポラリーダンスまでスパイラルの舞台系コンテンツのプロデュースや、アート・ファッション・雑貨などジャンルを越えた展覧会のプロデュースを行なう。豊洲エリアのブランディングや東京ドームシティ内のギャラリー「Gallery AaMo（ギャラリーアーモ）」の企画立案及びオープニングイベントのプロデュースなど、外部施設のコンサルティングやプロデュースを含め、スパイラル内外のイベントや展覧会のプロデュースを数多く手がけている。

KIGI（キギ） / 会場構成、アートディレクション

2012年に植原亮輔と渡邊良重により設立。企業やブランド、製品などのアートディレクションのほか、琵琶湖周辺の職人たちとオリジナルブランド「KIKOF」を立ち上げ、プロダクトブランド「D-BROS」、ファッションブランド「CACUMA」などのデザインコンテンツを手掛ける。また、プライベートでも作品を制作し発表するなど、自在な発想と表現力であらゆるジャンルを横断しながら、クリエイションの新しいあり方を探し、活動している。2015年、東京・白金にギャラリー&オリジナルショップ「OUR FAVOURITE SHOP」をオープン。2017年に宇都宮美術館にて大規模個展「KIGI WORK & FREE」を開催。2018年、越後妻有アートトリエンナーレ 2018 大地の芸術祭<方丈記私記>に「スタンディング酒BAR・酔独楽」を出品。2019年、一連の「酔独楽」プロジェクトにてADC会員賞受賞。東京ADCグランプリ（2015）、亀倉雄策賞（第11回/植原・第19回/渡邊）、NY ADC GOLD、One show Design GOLD等、国内外で受賞多数。東京ADC、JAGDA、AGI会員。

### 【PRESS CONTACT】

本件に関するご質問、取材や掲載等のご希望がございましたら、プレス担当までお問い合わせください。

竹形 尚子（デイリープレス）

T. 03-6416-3201 / 090-1531-6268 naotakegata@dailypress.org